

注3

大学番号：私038

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

秀明大学 看護学部 看護学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人秀明学園
令和元年5月1日現在

作成担当者

秀明大学事務局

シムキョクチョウ オオシロヨシノリ
事務局長 大 城 嘉 規

電話番号 047-488-2111

(夜間) 047-488-2110

F A X 047-488-8290

e-mail oshiro@adm.shumei-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 秀明学園

(2) 大学名

秀明大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒276-0003

千葉県八千代市大学町一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カワシマ コウキ) 川島幸希 (平成4年3月)		
学長	(カワシマ コウキ) 川島幸希 (平成24年4月)		
学部長	(カヤシマ キミコ) 茅島江子 (平成29年4月)		
学科長等	(カヤシマ キミコ) 茅島江子 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)
令和元年度に報告する内容 → (元)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください)。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	年 4	人 80	年次 人	人 320	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 80 (-) [-]	人 (-) [-]	人 80 (-) [-]	人 (-) [-]	人 80 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	0.49倍	一倍			
志願者数	292 (-) [-]	(-) (-) [-]	179 (-) [-]	(-) (-) [-]	221 (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]					
受験者数	272 (-) [-]	(-) (-) [-]	156 (-) [-]	(-) (-) [-]	186 (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]					
合格者数	67 (-) [-]	(-) (-) [-]	60 (-) [-]	(-) (-) [-]	82 (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]					
B 入学者数	37 (-) [-]	(-) (-) [-]	31 (-) [-]	(-) (-) [-]	51 (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]					
入学定員超過率 B/A	0.46		0.38		0.63										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	37 [-] (-)	[-] (-)	31 [-] (-)	[-] (-)	51 [-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
2年次	/		36 [-] (-)	[-] (-)	31 [-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		36 [-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
計	37 [-] (-)	[-] (-)	67 [-] (-)	[-] (-)	118 [-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	37人	1人	平成29年度	1人	0人	進路変更
平成30年度	68人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	119人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
平成2年度	-人	-人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			平成2年度	0人	0人	
令和3年度	-人	-人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			平成2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
合計		1人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{37} = \boxed{2.70} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{68} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{119} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	看護英語基礎Ⅰ	1前	1			1						
	看護英語基礎Ⅱ	1後	1			1						
	看護英語リーディングⅠ	2前	1			1						
	看護英語リーディングⅡ	2後	1			1						
	看護英会話基礎Ⅰ	1前	1									兼1
	看護英会話基礎Ⅱ	1後	1									兼1
	看護英会話中級Ⅰ	2前	1									兼1
	看護英会話中級Ⅱ	2後	1									兼1
	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2									兼1
	コンピュータリテラシーⅡ	1後		2								兼1
	総合教養演習Ⅰ	1前	1				13	3	4	6		
	総合教養演習Ⅱ	1後	1				13	3	4	6		
	総合教養演習Ⅲ	2前	1				13	3	4	6		
	総合教養演習Ⅳ	2後	1				13	3	4	6		
	総合教養演習Ⅴ	3前	1				13	3	4	6		
	教養数学	1前・後		2			1					
	教養生物学	1前・後		2			1					
	経済社会学総論	1前・後		2								兼1
	国語表現法	1前・後		2								兼1
	思想史総論	1前・後		2								兼1
	心理学総論	1前・後		2								兼1
	世界近現代史	1前・後		2								兼1
	日本近代史	1前・後		2								兼1
	日本現代史	1前・後		2								兼1
	法政治学総論	1前・後		2								兼1
	アジア文化論	3前		2								兼1
	イスラーム文化論	3前		2								兼1
	教養化学	3前		2								兼1
	教養統計学	3前		2								兼1
	教養物理学	3前		2								兼1
	芸術史	3前		2								兼1
	健康・スポーツ科学	3前		2								兼1
	自然科学史	3前		2								兼1
	世界前近代史	3前		2								兼1
	日本近代文学	3前		2								兼1
	日本古典文学	3前		2								兼1
	日本前近代史	3前		2								兼1
	地理学	3前		2								兼1
	ヨーロッパ文化論	3前		2								兼1
小計(39科目)	—		15	50	0	16	3	4	6	0	兼20	
専門基礎分野	生理学	1前	2			1						
	解剖生理学Ⅰ	1前	2									兼2
	解剖生理学Ⅱ	1後	2									兼2
	病理学	2前	1									兼1
	薬理学	2前	2			1						
	生化学	2前	2									兼1
	免疫学	2後	1									兼1
	臨床栄養学	2後	2			1						
	微生物学・感染症学	2後	2									兼1
	疾病と治療Ⅰ	2前	2									兼1
	疾病と治療Ⅱ	2後	2									兼1
	臨床心理学	3前	2									兼1
	生命倫理学	1前	1									兼1
	疫学	2後			2							兼1
小計(14科目)	—		23	0	2	1	0	0	0	0	兼7	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	看護英語基礎Ⅰ	1前	1			1						
	看護英語基礎Ⅱ	1後	1			1						
	看護英語リーディングⅠ	2前	1			1						
	看護英語リーディングⅡ	2後	1			1						
	看護英会話基礎Ⅰ	1前	1									兼2
	看護英会話基礎Ⅱ	1後	1									兼2
	看護英会話中級Ⅰ	2前	1									兼2
	看護英会話中級Ⅱ	2後	1									兼2
	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2									兼1
	コンピュータリテラシーⅡ	1後		2								兼1
	総合教養演習Ⅰ	1前	1				14	3	5	6		
	総合教養演習Ⅱ	1後	1				14	3	5	6		
	総合教養演習Ⅲ	2前	1				14	3	5	6		
	総合教養演習Ⅳ	2後	1				14	3	5	6		
	総合教養演習Ⅴ	3前	1				14	3	5	6		
	教養数学	1前・後		2			1					
	教養生物学	1前・後		2			0					兼1
	経済社会学総論	1前・後		2								兼1
	国語表現法	1前・後		2								兼1
	思想史総論	1前・後		2								兼1
	心理学総論	1前・後		2								兼1
	世界近現代史	1前・後		2								兼1
	日本近代史	1前・後		2								兼1
	日本現代史	1前・後		2								兼1
	法政治学総論	1前・後		2								兼1
	アジア文化論	3前		2								兼1
	イスラーム文化論	3前		2								兼1
	教養化学	3前		2								兼1
	教養統計学(未開講)	3前		2								兼1
	教養物理学	3前		2								兼1
	芸術史	3前		2								兼1
	健康・スポーツ科学	3前		2								兼1
	自然科学史	3前		2								兼1
	世界前近代史	3前		2								兼1
	日本近代文学	3前		2								兼1
	日本古典文学	3前		2								兼1
	日本前近代史(未開講)	3前		2								兼1
	地理学	3前		2								兼1
	ヨーロッパ文化論	3前		2								兼1
小計(39科目)	—		15	50	0	16	3	5	6	0	兼22	
専門基礎分野	生理学	1前	2			1						
	解剖生理学Ⅰ	1前	2									兼1
	解剖生理学Ⅱ	1後	2									兼1
	病理学	2前	1									兼1
	薬理学	2前	2			1						
	生化学	2前	2									兼0
	免疫学	2後	1									兼0
	臨床栄養学	2後	2			1						
	微生物学・感染症学	2後	2									兼0
	疾病と治療Ⅰ	2前	2									兼1
	疾病と治療Ⅱ	2後	2									兼1
	臨床心理学	3前	2									兼1
	生命倫理学	1前	1									兼1
	疫学	2後			2							兼1
小計(14科目)	—		23	0	2	2	0	0	0	0	兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護の統合と実践科目	救急看護論	3前		1		1						
	感染看護論	3前		1								兼1
	災害看護論	3前		1		1						
	看護管理学	3前		1								兼1
	看護人類学	3前		1			1					
	看護情報論	3前	1									兼1
	クリティカルケア論	4後		1								兼1
	緩和ケア論	4後		1								兼1
	創傷ケア論	4後		1								兼1
	リハビリテーションケア論	4後		1		1						
	性の健康看護論	4後		1		1						
	看護研究方法論	3前		2		2						
	看護研究	4前後		2		12	3	5	4			
小計(13科目)	—	5	10	0	12	3	5	4	0		兼6	
公衆衛生看護学実習Ⅰ	2後	1			1	1				1		
総合実習	4前	2			12	3	5	6				
小計(2科目)	—	3	0	0	12	3	5	6	1			
看護師課程合計	—	122	60	2	15	3	5	6	9		兼34	
保健師専門分野	公衆衛生看護対象論	3前			2	1						
	公衆衛生看護技術論	3前			2	1						
	公衆衛生看護診断論	3前			2	1						
	公衆衛生看護管理論	3前			1	1						
	保健医療福祉行政論Ⅱ	3前			1	1						
	小計(5科目)	—	0	0	8	2	1	0	0	0		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前			4	1	1				1	
小計(1科目)	—	0	0	4	1	1	0	0	1			
合計(120科目)	—	122	60	14	15	3	5	6	9		兼34	

卒業要件及び履修方法

- 次の①②③④⑤⑥を卒業要件とする。
 - 本学に4年以上在籍すること。
 - 学部の定める必修科目121単位をすべて習得すること。
 - 選択科目として、基礎科目分野または他学部開設科目から6単位を修得すること。
 - 【看護の統合と実践科目】の5科目「救急看護論」、「感染看護学」、「災害看護論」、「看護管理学」、「看護人類学」のうちから2科目2単位を修得すること。
 - 【看護の統合と実践科目】の5科目「クリティカルケア論」、「緩和ケア論」、「創傷ケア論」、「リハビリテーションケア論」、「性の健康看護論」のうちから2科目2単位を修得すること。
 - 必修科目と選択科目を合わせて131単位を修得すること。
- 保健師の資格を取得する場合は、卒業要件の他に保健師専門分野から13単位を修得すること。なお、養護教諭2種免許を申請しようとする学生は、他学部開設科目の「スポーツ演習Ⅰ」、「日本国憲法」を修得すること。
- 学期(半年)の履修登録の上限は23単位とする。ただし、臨地実習はこれに含まず、本学の指定する期間に履修する。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護の統合と実践科目	救急看護論	3前		1		1						
	感染看護論	3前		1								兼1
	災害看護論	3前		1		1						
	看護管理学	3前		1								兼1
	看護人類学	3前		1			1					
	看護情報論	3前	1									兼1
	クリティカルケア論	4後		1								兼1
	緩和ケア論	4後		1								兼1
	創傷ケア論	4後		1								兼1
	リハビリテーションケア論	4後		1		1						
	性の健康看護論	4後		1		1						
	看護研究方法論	3前		2		2						
	看護研究	4前後		2		12	3	5	4			
小計(13科目)	—	5	10	0	12	3	5	4	0		兼6	
公衆衛生看護学実習Ⅰ	2後	1			1	1				1		
総合実習	4前	2			12	3	5	6				
小計(2科目)	—	3	0	0	12	3	5	6	1			
看護師課程合計	—	122	60	2	15	3	5	6	9		兼35	
保健師専門分野	公衆衛生看護対象論	3前			2	1						
	公衆衛生看護技術論	3前			2	1						
	公衆衛生看護診断論	3前			2	1						
	公衆衛生看護管理論	3前			1	1						
	保健医療福祉行政論Ⅱ	3前			1	1						
	小計(5科目)	—	0	0	8	2	1	0	0	0		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前			4	1	1				1	
小計(1科目)	—	0	0	4	1	1	0	0	1			
合計(120科目)	—	122	60	14	16	3	5	6	9		兼35	

卒業要件及び履修方法

- 次の①②③④⑤⑥を卒業要件とする。
 - 本学に4年以上在籍すること。
 - 学部の定める必修科目121単位をすべて習得すること。
 - 選択科目として、基礎科目分野または他学部開設科目から6単位を修得すること。
 - 【看護の統合と実践科目】の5科目「救急看護論」、「感染看護学」、「災害看護論」、「看護管理学」、「看護人類学」のうちから2科目2単位を修得すること。
 - 【看護の統合と実践科目】の5科目「クリティカルケア論」、「緩和ケア論」、「創傷ケア論」、「リハビリテーションケア論」、「性の健康看護論」のうちから2科目2単位を修得すること。
 - 必修科目と選択科目を合わせて131単位を修得すること。
- 保健師の資格を取得する場合は、卒業要件の他に保健師専門分野から13単位を修得すること。なお、養護教諭2種免許を申請しようとする学生は、他学部開設科目の「スポーツ演習Ⅰ」、「日本国憲法」を修得すること。
- 学期(半年)の履修登録の上限は23単位とする。ただし、臨地実習はこれに含まず、本学の指定する期間に履修する。

【平成29年度】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	看護英語基礎Ⅰ	1前	1			1						
	看護英語基礎Ⅱ	1後	1			1						
	看護英語リーディングⅠ(未開講)	2前	1			1						
	看護英語リーディングⅡ(未開講)	2後	1			1						
	看護英会話基礎Ⅰ	1前	1									兼2
	看護英会話基礎Ⅱ	1後	1									兼2
	看護英会話中級Ⅰ(未開講)	2前	1									兼2
	看護英会話中級Ⅱ(未開講)	2後	1									兼2
	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2									兼1
	コンピュータリテラシーⅡ	1後	2									兼1
	総合教養演習Ⅰ	1前	1				14	3	4	6		
	総合教養演習Ⅱ	1後	1				14	3	4	6		
	総合教養演習Ⅲ(未開講)	2前	1				14	3	4	6		
	総合教養演習Ⅳ(未開講)	2後	1				14	3	4	6		
	総合教養演習Ⅴ(未開講)	3前	1				14	3	4	6		
	教養数学	1前・後	2				1					
	教養生物学	1前・後	2				1					
	経済社会学総論	1前・後	2									兼1
	国語表現法	1前・後	2									兼1
	思想史総論	1前・後	2									兼1
	心理学総論	1前・後	2									兼1
	世界近現代史	1前・後	2									兼1
	日本近代史	1前・後	2									兼1
	日本現代史	1前・後	2									兼1
	法政治学総論	1前・後	2									兼1
	アジア文化論	3前	2									兼1
	イスラーム文化論	3前	2									兼1
	教養化学	3前	2									兼1
	教養統計学(未開講)	3前	2									兼1
	教養物理学	3前	2									兼1
	芸術史	3前	2									兼1
	健康・スポーツ科学	3前	2									兼1
	自然科学史	3前	2									兼1
	世界前近代史	3前	2									兼1
	日本近代文学	3前	2									兼1
	日本古典文学	3前	2									兼1
	日本前近代史	3前	2									兼1
	地理学	3前	2									兼1
	ヨーロッパ文化論	3前	2									兼1
小計(39科目)	-	15	50	0	16	3	4	6	0	0	兼21	
専門基礎分野	生理学	1前	2			1						
	解剖生理学Ⅰ	1前	2									兼2
	解剖生理学Ⅱ	1後	2									兼2
	病理学(未開講)	2前	1									兼1
	薬理学(未開講)	2前	2			1						
	生化学(未開講)	2前	2									兼1
	免疫学(未開講)	2後	1									兼1
	臨床栄養学(未開講)	2後	2			1						
	微生物学・感染症学(未開講)	2後	2									兼1
	疾病と治療Ⅰ(未開講)	2前	2									兼1
	疾病と治療Ⅱ(未開講)	2後	2									兼1
	臨床心理学(未開講)	3前	2									兼1
	生命倫理学	1前	1									兼1
	疫学(未開講)	2後	1		2							兼1
小計(14科目)	-	23	0	2	1	0	0	0	0	0	兼7	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	看護英語基礎Ⅰ	1前	1			1						
	看護英語基礎Ⅱ	1後	1			1						
	看護英語リーディングⅠ	2前	1			1						
	看護英語リーディングⅡ	2後	1			1						
	看護英会話基礎Ⅰ	1前	1									兼2
	看護英会話基礎Ⅱ	1後	1									兼2
	看護英会話中級Ⅰ	2前	1									兼2
	看護英会話中級Ⅱ	2後	1									兼2
	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2									兼1
	コンピュータリテラシーⅡ	1後	2									兼1
	総合教養演習Ⅰ	1前	1				14	3	5	6		
	総合教養演習Ⅱ	1後	1				14	3	5	6		
	総合教養演習Ⅲ	2前	1				14	3	5	6		
	総合教養演習Ⅳ	2後	1				14	3	5	6		
	総合教養演習Ⅴ(未開講)	3前	1				14	3	5	6		
	教養数学	1前・後	2				1					
	教養生物学	1前・後	2				0					兼1
	経済社会学総論	1前・後	2									兼1
	国語表現法	1前・後	2									兼1
	思想史総論	1前・後	2									兼1
	心理学総論	1前・後	2									兼1
	世界近現代史	1前・後	2									兼1
	日本近代史	1前・後	2									兼1
	日本現代史	1前・後	2									兼1
	法政治学総論	1前・後	2									兼1
	アジア文化論	3前	2									兼1
	イスラーム文化論	3前	2									兼1
	教養化学	3前	2									兼1
	教養統計学(未開講)	3前	2									兼1
	教養物理学	3前	2									兼1
	芸術史	3前	2									兼1
	健康・スポーツ科学	3前	2									兼1
	自然科学史	3前	2									兼1
	世界前近代史	3前	2									兼1
	日本近代文学	3前	2									兼1
	日本古典文学	3前	2									兼1
	日本前近代史	3前	2									兼1
	地理学	3前	2									兼1
	ヨーロッパ文化論	3前	2									兼1
小計(39科目)	-	15	50	0	15	3	5	6	0	0	兼22	
専門基礎分野	生理学	1前	2			1						
	解剖生理学Ⅰ	1前	2									兼1
	解剖生理学Ⅱ	1後	2									兼1
	病理学	2前	1									兼1
	薬理学	2前	2			1						
	生化学	2前	2									兼0
	免疫学	2後	1									兼0
	臨床栄養学	2後	2			1						
	微生物学・感染症学	2後	2			1						兼0
	疾病と治療Ⅰ	2前	2									兼1
	疾病と治療Ⅱ	2後	2									兼1
	臨床心理学(未開講)	3前	2									兼1
	生命倫理学	1前	1									兼1
	疫学	2後	1		2							兼1
小計(14科目)	-	23	0	2	2	0	0	0	0	0	兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎分野	社会福祉学(未開講)	2前	2								兼1
	保健医療福祉行政論Ⅰ(未開講)	2後	1			1					
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1					
	保健統計学(未開講)	2後	2								兼1
	生活環境と健康	1後	2								兼1
	小計(5科目)	—	9	0	0	1	0	0	0	0	兼3
専門分野Ⅰ	基礎看護学概論Ⅰ	1前	2			2					
	基礎看護学概論Ⅱ	1後	2								
	看護倫理(未開講)	2後	2			1					
	看護過程(未開講)	2前後	1			2		1	1		
	フィジカルアセスメント(未開講)	2前	1			2		1	1		
	看護技術論	1後	2			2					
専門分野Ⅰ	共通看護技術	1後	1			2		1	1		
	医療支援技術(未開講)	2後	2			2		1	1		
	生活援助技術(未開講)	2前	2			2		1	1		
	看護コミュニケーション(未開講)	2前	1			1			1		
	小計(10科目)	—	16	0	0	4	0	1	2	0	兼0
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			1				1	
	基礎看護学実習Ⅱ(未開講)	2前	2			1				1	
	小計(2科目)	—	3	0	0	1	0	0	0	1	兼0
専門分野Ⅱ	成人看護学概論	1前	2			2					
	成人看護の方法(急性期)(未開講)	3前	2			3					
	成人看護の方法(慢性期)(未開講)	2前	2			2					
	成人看護の方法(周手術期)(未開講)	3前	2			1					
	小計(4科目)	—	8	0	0	3	0	0	0	0	兼0
	成人看護学実習Ⅰ(未開講)	3後	2			3			1	2	
	成人看護学実習Ⅱ(未開講)	3後	2			3			1	2	
	成人看護学実習Ⅲ(未開講)	4前	2			3		1	2		
	小計(3科目)	—	6	0	0	3	0	0	1	2	兼0
専門分野Ⅱ	老年看護学概論	1前	2			1					
	老年看護の方法Ⅰ(未開講)	2後	1			1		1	1		
	老年看護の方法Ⅱ(未開講)	3前	1			1		1	1		
	小計(3科目)	—	4	0	0	1	0	1	1	0	兼0
	老年看護学実習Ⅰ(未開講)	3後	2			1		1	1	1	
	老年看護学実習Ⅱ(未開講)	4前	2			1		1	1	1	
	小計(2科目)	—	4	0	0	1	0	1	1	1	兼0
専門分野Ⅱ	小児看護学概論	1後	2			1		1			
	小児看護の方法Ⅰ(未開講)	2後	1			1		1	1		
	小児看護の方法Ⅱ(未開講)	3前	1			1		1	1		
	小計(3科目)	—	4	0	0	1	0	1	1	0	兼0
	小児看護学実習(未開講)	3後	2			1		1	1	1	
	小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	1	1	1	兼0
専門分野Ⅱ	母性看護学概論	1前	2			1					
	母性看護の方法Ⅰ(未開講)	2後	1				1		1		
	母性看護の方法Ⅱ(未開講)	3前	1				1		1		
	小計(3科目)	—	4	0	0	1	1	0	1	0	兼0
	母性看護学実習(未開講)	3後	2			1		1	1	1	
	小計(1科目)	—	2	0	0	1	1	0	1	1	兼0
専門分野Ⅱ	精神看護学概論	1後	2			1					
	精神看護の方法Ⅰ(未開講)	2後	1					1			
	精神看護の方法Ⅱ(未開講)	3前	1					1			
	小計(3科目)	—	4	0	0	1	0	1	0	0	兼0
	精神看護学実習(未開講)	3後	2			1		1	1	1	
	小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	1	1	1	兼0

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎分野	社会福祉学	2前	2								兼1		
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1							
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1					兼1		
	保健統計学	2後	2								兼1		
	生活環境と健康	1後	2								兼1		
	小計(5科目)	—	9	0	0	1	0	0	0	0	兼3		
専門分野Ⅰ	基礎看護学概論Ⅰ	1前	2					3					
	基礎看護学概論Ⅱ	1後	2					3					
	看護倫理	2後	2			1							
	看護過程	2前後	1					3		1	1		
	フィジカルアセスメント	2前	1					3		1	1		
	看護技術論	1後	2					3					
専門分野Ⅰ	共通看護技術	1後	1					3		1	1		
	医療支援技術	2後	2					3		1	1		
	生活援助技術	2前	2					3		1	1		
	看護コミュニケーション	2前	1					1			1		
	小計(10科目)	—	16	0	0			5	0	1	2	0	兼0
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1					2				1	
	基礎看護学実習Ⅱ	2前	2					2				1	
	小計(2科目)	—	3	0	0			2	0	0	0	1	兼0
専門分野Ⅱ	成人看護学概論	1前	2					2					
	成人看護の方法(急性期)(未開講)	3前	2					2		1			
	成人看護の方法(慢性期)	2前	2					1		1			
	成人看護の方法(周手術期)(未開講)	3前	2					1					
	小計(4科目)	—	8	0	0			2	0	1	0	0	兼0
	成人看護学実習Ⅰ(未開講)	3後	2					2		1	1	2	
	成人看護学実習Ⅱ(未開講)	3後	2					2		1	1	2	
	成人看護学実習Ⅲ(未開講)	4前	2				2		1	1	2		
	小計(3科目)	—	6	0	0			2	0	1	1	2	兼0
専門分野Ⅱ	老年看護学概論	1前	2					1					
	老年看護の方法Ⅰ	2後	1					1		1	1		
	老年看護の方法Ⅱ(未開講)	3前	1					1		1	1		
	小計(3科目)	—	4	0	0			1	0	1	1	0	兼0
	老年看護学実習Ⅰ(未開講)	3後	2					1		1	1	1	
	老年看護学実習Ⅱ(未開講)	4前	2					1		1	1	1	
	小計(2科目)	—	4	0	0			1	0	1	1	1	兼0
専門分野Ⅱ	小児看護学概論	1後	2					1		1			
	小児看護の方法Ⅰ	2後	1					1		1	1		
	小児看護の方法Ⅱ(未開講)	3前	1					1		1	1		
	小計(3科目)	—	4	0	0			1	0	1	1	0	兼0
	小児看護学実習(未開講)	3後	2					1		1	1	1	
	小計(1科目)	—	2	0	0			1	0	1	1	1	兼0
専門分野Ⅱ	母性看護学概論	1前	2					1					
	母性看護の方法Ⅰ	2後	1						1		1		
	母性看護の方法Ⅱ(未開講)	3前	1						1		1		
	小計(3科目)	—	4	0	0			1	1	0	1	0	兼0
	母性看護学実習(未開講)	3後	2					1		1	1	1	
	小計(1科目)	—	2	0	0			1	1	0	1	1	兼0
専門分野Ⅱ	精神看護学概論	1後	2					1					
	精神看護の方法Ⅰ	2後	1							1			
	精神看護の方法Ⅱ(未開講)	3前	1							1			
	小計(3科目)	—	4	0	0			1	0	1	0	0	兼0
	精神看護学実習(未開講)	3後	2					1		1	1	1	
	小計(1科目)	—	2	0	0			1	0	1	1	1	兼0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
統合分野	在宅看護学概論	1後	2			1	1					
	在宅看護の方法Ⅰ(未開講)	2後	1				1	1				
	在宅看護の方法Ⅱ(未開講)	3前	1				1	1				
	家族看護論(未開講)	2前	2			1						
	小計(4科目)	—	6	0	0	2	1	1	0	0		兼0
	在宅看護学実習(未開講)	3後	2			1	1	1		1		
統合分野	小計(1科目)	—	2	0	0	1	1	1	0	1		兼0
	救急看護論(未開講)	3前		1		1						兼1
	感染看護論(未開講)	3前		1								兼1
	災害看護論(未開講)	3前		1		1						兼1
	看護管理学(未開講)	3前		1								兼1
	看護人類学(未開講)	3前		1			1					兼1
	看護情報論(未開講)	3前	1									兼1
	クリティカルケア論(未開講)	4後		1								兼1
	緩和ケア論(未開講)	4後		1								兼1
	創傷ケア論(未開講)	4後		1								兼1
	リハビリテーションケア論(未開講)	4後		1		1						兼1
	性の健康看護論(未開講)	4後		1		1						兼1
	看護研究方法論(未開講)	3前	2			2						
	看護研究(未開講)	4前後	2			12	3	5	4			
	小計(13科目)	—	5	10	0	12	3	5	4	0		兼6
公衆衛生看護学実習Ⅰ(未開講)	2後	1			1	1			1			
総合実習(未開講)	4前	2			12	3	5	6				
小計(2科目)	—	3	0	0	12	3	5	6	1			
看護師課程合計	—	122	60	2	16	3	5	6	9		兼35	
保健師専門分野	公衆衛生看護対象論(未開講)	3前			2		1					
	公衆衛生看護技術論(未開講)	3前			2		1					
	公衆衛生看護診断論(未開講)	3前			2	1						
	公衆衛生看護管理学(未開講)	3前			1	1						
	保健医療福祉行政論Ⅱ(未開講)	3前			1	1						
	小計(5科目)	—	0	0	8	2	1	0	0	0		
公衆衛生看護学実習Ⅱ(未開講)	4前			4	1	1			1			
小計(1科目)	—	0	0	4	1	1	0	0	1			
合計(120科目)	—	122	60	14	16	3	5	6	9		兼35	

卒業要件及び履修方法

- 次の①②③④⑤⑥を卒業要件とする。
 - ① 本学に4年以上在籍すること。
 - ② 学部の定める必修科目121単位をすべて習得すること。
 - ③ 選択科目として、基礎科目分野または他学部開設科目から6単位を修得すること。
 - ④ 【看護の統合と実践科目】の5科目「救急看護論」、「感染看護学」、「災害看護論」、「看護管理学」、「看護人類学」のうちから2科目2単位を修得すること。
 - ⑤ 【看護の統合と実践科目】の5科目「クリティカルケア論」、「緩和ケア論」、「創傷ケア論」、「リハビリテーションケア論」、「性の健康看護論」のうちから2科目2単位を修得すること。
 - ⑥ 必修科目と選択科目を合わせて131単位を修得すること。
- 保健師の資格を取得する場合は、卒業要件の他に保健師専門分野から13単位を修得すること。なお、養護教諭2種免許を申請しようとする学生は、他学部開設科目の「スポーツ演習Ⅰ」、「日本国憲法」を修得すること。
- 学期(半年)の履修登録の上限は23単位とする。ただし、臨地実習はこれに含まず、本学の指定する期間に履修する。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
統合分野	在宅看護学概論	1後	2			1	1					
	在宅看護の方法Ⅰ	2後	1				1	1				
	在宅看護の方法Ⅱ(未開講)	3前	1				1	1				
	家族看護論(未開講)	2前	2			1						
	小計(4科目)	—	6	0	0	2	1	1	0	0		兼0
	在宅看護学実習(未開講)	3後	2			1	1	1		1		
統合分野	小計(1科目)	—	2	0	0	1	1	1	0	1		兼0
	救急看護論(未開講)	3前		1		1						兼1
	感染看護論(未開講)	3前		1								兼1
	災害看護論(未開講)	3前		1		1						兼1
	看護管理学(未開講)	3前		1								兼1
	看護人類学(未開講)	3前		1			1					兼1
	看護情報論(未開講)	3前	1									兼1
	クリティカルケア論(未開講)	4後		1								兼1
	緩和ケア論(未開講)	4後		1								兼1
	創傷ケア論(未開講)	4後		1								兼1
	リハビリテーションケア論(未開講)	4後		1		1						兼1
	性の健康看護論(未開講)	4後		1		1						兼1
	看護研究方法論(未開講)	3前	2			2						
	看護研究(未開講)	4前後	2			12	3	5	4			
	小計(13科目)	—	5	10	0	12	3	5	4	0		兼6
公衆衛生看護学実習Ⅰ	2後	1			1	1			1			
総合実習(未開講)	4前	2			12	3	5	6				
小計(2科目)	—	3	0	0	12	3	5	6	1		兼35	
看護師課程合計	—	122	60	2	16	3	5	6	9		兼35	
保健師専門分野	公衆衛生看護対象論(未開講)	3前			2		1					
	公衆衛生看護技術論(未開講)	3前			2		1					
	公衆衛生看護診断論(未開講)	3前			2	1						
	公衆衛生看護管理学(未開講)	3前			1	1						
	保健医療福祉行政論Ⅱ(未開講)	3前			1	1						
	小計(5科目)	—	0	0	8	2	1	0	0	0		
公衆衛生看護学実習Ⅱ(未開講)	4前			4	1	1			1			
小計(1科目)	—	0	0	4	1	1	0	0	1			
合計(120科目)	—	122	60	14	16	3	5	6	9		兼35	

卒業要件及び履修方法

- 次の①②③④⑤⑥を卒業要件とする。
 - ① 本学に4年以上在籍すること。
 - ② 学部の定める必修科目121単位をすべて習得すること。
 - ③ 選択科目として、基礎科目分野または他学部開設科目から6単位を修得すること。
 - ④ 【看護の統合と実践科目】の5科目「救急看護論」、「感染看護学」、「災害看護論」、「看護管理学」、「看護人類学」のうちから2科目2単位を修得すること。
 - ⑤ 【看護の統合と実践科目】の5科目「クリティカルケア論」、「緩和ケア論」、「創傷ケア論」、「リハビリテーションケア論」、「性の健康看護論」のうちから2科目2単位を修得すること。
 - ⑥ 必修科目と選択科目を合わせて131単位を修得すること。
- 保健師の資格を取得する場合は、卒業要件の他に保健師専門分野から13単位を修得すること。なお、養護教諭2種免許を申請しようとする学生は、他学部開設科目の「スポーツ演習Ⅰ」、「日本国憲法」を修得すること。
- 学期(半年)の履修登録の上限は23単位とする。ただし、臨地実習はこれに含まず、本学の指定する期間に履修する。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・少人数指導を実施するため、「看護英会話基礎Ⅰ、Ⅱ」「看護英会話中級Ⅰ、Ⅱ」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・補正教員審査結果において梁原裕恵が「総合教養演習Ⅰ～Ⅴ」において「不可」（専任補充）の判定を受けたことにより、専任教員等の配置を「教授13」から「教授14」に変更。
- ・指導体制強化のため、「基礎看護学概論Ⅰ、Ⅱ」「看護過程」「フィジカルアセスメント」「看護技術論」「共通看護技術」「医療支援技術」「共通援助技術」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更
- ・指導体制強化のため、「成人看護の方法（急性期）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更

【平成30年度】

- ・藤野彰子教授の就任辞退及び小松妙子教授、大野美千代講師の就任により、「総合教養演習Ⅰ～Ⅴ」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師5」に変更、また「看護研究」「総合実習」の専任教員等の配置を「講師5」から「講師6」に変更
- ・越田澄人教授が専任から兼任に変更になることにより、「教養生物学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」兼任・兼任を「空白」から「兼1」に変更。
- ・神崎秀嗣教授の就任により、「解剖生理学Ⅰ」「解剖生理学Ⅱ」の専任教員等配置を「教授0」から「教授1」、「兼2」から「兼1」に変更、また「生化学」「免疫学」「微生物学・感染症学」の専任教員等配置を「教授0」から「教授1」兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更
- ・小松妙子教授就任により、「基礎看護学概論Ⅰ」「基礎看護学概論Ⅱ」「看護過程」「フィジカルアセスメント」「看護技術論」「共通看護技術」「医療支援技術」「生活援助技術」「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更
- ・藤野彰子教授の就任辞退及び大野美千代講師の就任により、「成人看護の方法（急性期）」「成人看護学実習Ⅰ」「成人看護学実習Ⅱ」「成人看護学実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「講師0」から「講師1」に変更、また「成人看護の方法（慢性期）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「講師0」から「講師1」に変更

【令和元年度】

- ・指導体制強化のため、「成人看護の方法（急性期）」「成人看護の方法（慢性期）」「成人看護の方法（周手術期）」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・瀬戸口ひとみ講師の辞任により、「精神看護の方法Ⅰ」「精神看護の方法Ⅱ」「精神看護学実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更（後任AC教員審査申請中）
- ・瀬戸口ひとみ講師の辞任により「看護研究」「総合実習」の専任教員等の配置を「講師6」から「講師5」に変更

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
78 科目	35 科目	7 科目	120 科目	[] 科目	[] 科目	[] 科目	[] 科目	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	精神看護の方法Ⅱ	1	3前		必修	瀬戸口ひとみ講師の辞任により、現在科目担当者不在の為。H31.4のAC教員審査において香月毅史教授の科目追加を申請中、承認後開講予定。
2	日本前近代史	2	3前		選択	3年次前期、開講を予定していましたが、時間割の都合上3年次後期もしくは4年次に開講予定
3	教養統計学	2	3前		選択	3年次前期、開講を予定していましたが、時間割の都合上3年次後期もしくは4年次に開講予定

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

瀬戸口ひとみ講師の急な辞任の為 教員審査が間に合わず、前期科目ではあるが他の科目を1日2コマにて進めることで後半部分の講義を承認され次第「精神看護の方法Ⅱ」に充てる予定である。学生にも前期ガイダンス時に説明済。(元)「日本前近代史」「教養統計学」の未開講については、時期をずらしての開講をよていしており、学生にも

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{120} = \boxed{2.5}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	78,079.89㎡	0㎡	0㎡	78,079.89㎡			
	運動場用地	69,522.0㎡	0㎡	0㎡	69,522.0㎡			
	小 計	147,601.93㎡	0㎡	0㎡	147,601.93㎡			
	そ の 他	5,527.06㎡	0㎡	0㎡	5,527.06㎡			
	合 計	153,128.99㎡	0㎡	0㎡	153,128.99㎡			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		30,384.78㎡	0㎡	0㎡	30,384.78㎡			
		(30,384.78㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(30,384.78㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	54室	65室	16室	8室 (補助職員 2人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	看護学部 看護学科			31 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	看護学部	5,863[497] (4,763[397])	96[18] (36)[18]	16[13] (16[13])	148 (128)	3,187 (3,187)	36 (36)	
計	5,863[497] (4,763[397])	96[18] (36)[18]	16[13] (14[13])	148 (128)	3,187 (3,187)	36 (36)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			
	1,594㎡		210席		130,000冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,579.7㎡		総合陸上競技場 1面		プール棟 1棟			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1人当り研究費等	130千円	130千円	図書購入費	21,470千円	13,475千円	15,800千円
	共同研究費等	2,500千円	2,500千円	設備購入費	152,801千円	10,000千円	10,000千円	
	学生 1人当り納付金	第 1年次	第 2年次	第 3年次	第 4年次	第 5年次	第 6年次	
		1,750千円	1,450千円	1,450千円	1,450千円	- 千円	- 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	〇〇大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
看護学部										
看護学科	4	80		320	学士 (看護学)	0.49	-	平成29年度	千葉県八千代市大学町一丁目1番1号	
学校教師学部										
中等教育教員養成課程	4	200		800	学士 (教育学)	1.15	-	平成20年度	千葉県八千代市大学町一丁目1番1号	
総合経営学部										
企業経営学科	4	90		360	学士 (経営学)	1.14	-	平成13年度	千葉県八千代市大学町一丁目1番1号	
英語情報マネジメント学部										
英語情報マネジメント学科	4	70		280	学士 (経営学)	1.18	-	平成18年度	千葉県八千代市大学町一丁目1番1号	
観光ビジネス学部										
観光ビジネス学科	4	70		280	学士 (経営学)	1.26	-	平成21年度	千葉県八千代市大学町一丁目1番1号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	茅島 江子 (65) <平成29年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 母性看護学概論 母性看護学実習 性の健康看護論 看護研究 総合実習
		飯村 直子 (65) <平成29年4月> 博士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 小児看護学概論 小児看護の方法Ⅰ 小児看護の方法Ⅱ 小児看護学実習 看護研究方法論 看護研究 総合実習
専	教授	石川 りみ子 (66) <平成29年4月> 博士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 老年看護学概論 老年看護の方法Ⅰ 老年看護の方法Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護研究方法論 看護研究 総合実習
		市村 久美子 (65) <平成31年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 成人看護の方法(周手術期) 成人看護学概論 成人看護の方法(急性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ リハビリテーションケア論 看護研究 総合実習

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	茅島 江子 (65) <平成29年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 母性看護学概論 母性看護学実習 性の健康看護論 看護研究 総合実習
		飯村 直子 (65) <平成29年4月> 博士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 小児看護学概論 小児看護の方法Ⅰ 小児看護の方法Ⅱ 小児看護学実習 看護研究方法論 看護研究 総合実習
専	教授	石川 りみ子 (66) <平成29年4月> 博士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 老年看護学概論 老年看護の方法Ⅰ 老年看護の方法Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護研究方法論 看護研究 総合実習
		市村 久美子 (63) <平成31年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 成人看護の方法(周手術期) 成人看護学概論 成人看護の方法(急性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ リハビリテーションケア論 看護研究 総合実習

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	茅島 江子 (66) <平成29年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 母性看護学概論 母性看護学実習 性の健康看護論 看護研究 総合実習
		飯村 直子 (66) <平成29年4月> 博士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 小児看護学概論 小児看護の方法Ⅰ 小児看護の方法Ⅱ 小児看護学実習 看護研究方法論 看護研究 総合実習 家族看護論
専	教授	石川 りみ子 (67) <平成29年4月> 博士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 老年看護学概論 老年看護の方法Ⅰ 老年看護の方法Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護研究方法論 看護研究 総合実習
		市村 久美子 (64) <平成31年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 成人看護の方法(周手術期) 成人看護学概論 成人看護の方法(急性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ リハビリテーションケア論 看護研究 総合実習

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	茅島 江子 (67) <平成29年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 母性看護学概論 母性看護学実習 性の健康看護論 看護研究 総合実習
		飯村 直子 (67) <平成29年4月> 博士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 小児看護学概論 小児看護の方法Ⅰ 小児看護の方法Ⅱ 小児看護学実習 看護研究方法論 看護研究 総合実習 家族看護論
専	教授	石川 りみ子 (68) <平成29年4月> 博士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 老年看護学概論 老年看護の方法Ⅰ 老年看護の方法Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護研究方法論 看護研究 総合実習
		市村 久美子 (65) <平成31年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 成人看護の方法(周手術期) 成人看護学概論 成人看護の方法(急性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ リハビリテーションケア論 看護研究 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	香月 毅史 (60) <平成29年4月> 博士(保健学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護コミュニケーション 精神看護学概論 精神看護学実習 看護研究 総合実習
専	教授	門川 由紀江 (69) <平成29年4月> 修士(社会学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 看護研究 総合実習
専	教授	越田 澄人 (46) <平成29年4月> 博士(理学)
		教養生物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	香月 毅史 (60) <平成29年4月> 博士(保健学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護コミュニケーション 精神看護学概論 精神看護学実習 看護研究 総合実習
専	教授	門川 由紀江 (69) <平成29年4月> 修士(社会学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 看護研究 総合実習
専	教授	北林 司 (56) <平成29年4月> 博士(保健学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 成人看護学概論 成人看護の方法(急性期) 成人看護の方法(慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 総合実習 看護倫理 救急看護論 災害看護論 看護研究
専	教授	越田 澄人 (46) <平成29年4月> 博士(理学)
		教養生物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	香月 毅史 (61) <平成29年4月> 博士(保健学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護コミュニケーション 精神看護学概論 精神看護学実習 看護研究 総合実習
専	教授	門川 由紀江 (70) <平成29年4月> 修士(社会学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 看護研究 総合実習
専	教授	北林 司 (57) <平成29年4月> 博士(保健学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 成人看護学概論 成人看護の方法(急性期) 成人看護の方法(慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 総合実習 看護倫理 救急看護論 災害看護論 看護研究
専	教授	小松 妙子 (61) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程 フィジカルアセスメント 看護技術論 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	香月 毅史 (62) <平成29年4月> 博士(保健学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護コミュニケーション 精神看護学概論 精神看護学実習 看護研究 総合実習
専	教授	門川 由紀江 (71) <平成29年4月> 修士(社会学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 看護研究 総合実習
専	教授	北林 司 (58) <平成29年4月> 博士(保健学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 成人看護学概論 成人看護の方法(急性期) 成人看護の方法(慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 総合実習 看護倫理 救急看護論 災害看護論 看護研究
専	教授	小松 妙子 (62) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程 フィジカルアセスメント 看護技術論 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 泰子 (65) <平成29年4月> 修士(カウンセリング)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 在宅看護学概論 在宅看護学実習 看護研究 総合実習
専	教授	戸田すま子 (62) <平成29年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程 フィジカルアセスメント 看護技術論 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習
専	教授	長弘 千恵 (66) <平成31年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 家族看護論 看護研究 総合実習 公衆衛生看護診断論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅱ
専	教授	庭野 吉己 (61) <平成29年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 生理学 薬理学 臨床栄養学 看護研究 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	齋藤 泰子 (65) <平成29年4月> 修士(カウンセリング)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 在宅看護学概論 在宅看護学実習 看護研究 総合実習
専	教授	戸田すま子 (62) <平成29年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程 フィジカルアセスメント 看護技術論 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習
専	教授	長弘 千恵 (64) <平成31年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 家族看護論 看護研究 総合実習 公衆衛生看護診断論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅱ
兼任	教授	庭野 吉己 (61) <平成29年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 生理学 薬理学 臨床栄養学 看護研究 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 泰子 (66) <平成29年4月> 修士(カウンセリング)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 在宅看護学概論 在宅看護学実習 看護研究 総合実習
専	教授	戸田すま子 (63) <平成29年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程 フィジカルアセスメント 看護技術論 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習
専	教授	長弘 千恵 (65) <平成31年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護研究 総合実習 公衆衛生看護診断論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅱ
専	教授	庭野 吉己 (62) <平成29年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 生理学 薬理学 臨床栄養学 看護研究 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 泰子 (67) <平成29年4月> 修士(カウンセリング)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 在宅看護学概論 在宅看護学実習 看護研究 総合実習
専	教授	戸田すま子 (64) <平成29年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程 フィジカルアセスメント 看護技術論 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習
専	教授	伊藤 景一 (64) <平成31年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護研究 総合実習 公衆衛生看護診断論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅱ
専	教授	庭野 吉己 (63) <平成29年4月> 博士(医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 生理学 薬理学 臨床栄養学 看護研究 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平山 恵美子 (60) <平成29年4月> 修士(社会健康医学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護倫理 成人看護学概論 成人看護の方法(慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 救急看護論 災害看護論 看護研究 総合実習
専	教授	藤野 彰子 (68) <平成30年4月> 博士(保健学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 成人看護の方法(急性期) 成人看護の方法(慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 看護研究 総合実習
専	教授	松葉 育雄 (64) <平成29年4月> 理学博士
		教養数学
専	教授	松葉 育雄 (65) <平成29年4月> 理学博士
		教養数学
専	教授	松葉 育雄 (66) <平成29年4月> 理学博士
		教養数学
専	教授	村中 陽子 (65) <平成29年4月> 博士(ソフトウェア情報学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程 フィジカルアセスメント 看護技術論 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術
専	教授	村中 陽子 (66) <平成29年4月> 博士(ソフトウェア情報学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程 フィジカルアセスメント 看護技術論 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術
専	教授	吉田 聡 (58) <平成29年4月> Master of Philosophy (Art)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護英語基礎Ⅰ 看護英語基礎Ⅱ 看護英語リーディングⅠ 看護英語リーディングⅡ
専	教授	吉田 聡 (59) <平成29年4月> Master of Philosophy (Art)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護英語基礎Ⅰ 看護英語基礎Ⅱ 看護英語リーディングⅠ 看護英語リーディングⅡ
専	教授	吉田 聡 (60) <平成29年4月> Master of Philosophy (Art)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護英語基礎Ⅰ 看護英語基礎Ⅱ 看護英語リーディングⅠ 看護英語リーディングⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松葉 育雄 (64) <平成29年4月> 理学博士
		教養数学
専	教授	村中 陽子 (65) <平成29年4月> 博士(ソフトウェア情報学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程 フィジカルアセスメント 看護技術論 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術
専	教授	吉田 聡 (58) <平成29年4月> Master of Philosophy (Art)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護英語基礎Ⅰ 看護英語基礎Ⅱ 看護英語リーディングⅠ 看護英語リーディングⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松葉 育雄 (65) <平成29年4月> 理学博士
		教養数学
専	教授	村中 陽子 (66) <平成29年4月> 博士(ソフトウェア情報学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程 フィジカルアセスメント 看護技術論 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術
専	教授	吉田 聡 (59) <平成29年4月> Master of Philosophy (Art)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護英語基礎Ⅰ 看護英語基礎Ⅱ 看護英語リーディングⅠ 看護英語リーディングⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松葉 育雄 (66) <平成29年4月> 理学博士
		教養数学
専	教授	村中 陽子 (67) <平成29年4月> 博士(ソフトウェア情報学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程 フィジカルアセスメント 看護技術論 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術
専	教授	吉田 聡 (60) <平成29年4月> Master of Philosophy (Art)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護英語基礎Ⅰ 看護英語基礎Ⅱ 看護英語リーディングⅠ 看護英語リーディングⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	金丸 友 (43) <平成29年4月> 博士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 小児看護学概論 小児看護の方法Ⅰ 小児看護の方法Ⅱ 小児看護学実習 看護研究 総合実習
専	講師	瀬戸口 ひとみ (61) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 精神看護の方法Ⅰ 精神看護の方法Ⅱ 精神看護学実習 看護研究 総合実習
専	講師	中嶋 尚子 (55) <平成29年4月> 修士(教育学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護過程 フィジカルアセスメント 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習
専	講師	梁原 裕恵 (41) <平成29年4月> 修士(医療経営・管理学)
		在宅看護の方法Ⅰ 在宅看護の方法Ⅱ 在宅看護学実習 看護研究 総合実習
専	助教	石津 仁奈子 (50) <平成29年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 老年看護の方法Ⅰ 老年看護の方法Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	金丸 友 (43) <平成29年4月> 博士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 小児看護学概論 小児看護の方法Ⅰ 小児看護の方法Ⅱ 小児看護学実習 看護研究 総合実習
専	講師	瀬戸口 ひとみ (62) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 精神看護の方法Ⅰ 精神看護の方法Ⅱ 精神看護学実習 看護研究 総合実習
専	講師	中嶋 尚子 (55) <平成29年4月> 修士(教育学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護過程 フィジカルアセスメント 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習
専	講師	梁原 裕恵 (41) <平成29年4月> 修士(医療経営・管理学)
		在宅看護の方法Ⅰ 在宅看護の方法Ⅱ 在宅看護学実習 看護研究 総合実習
専	助教	石津 仁奈子 (50) <平成29年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 老年看護の方法Ⅰ 老年看護の方法Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	金丸 友 (44) <平成29年4月> 博士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 小児看護学概論 小児看護の方法Ⅰ 小児看護の方法Ⅱ 小児看護学実習 看護研究 総合実習
専	講師	瀬戸口 ひとみ (63) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 精神看護の方法Ⅰ 精神看護の方法Ⅱ 精神看護学実習 看護研究 総合実習
専	講師	中嶋 尚子 (56) <平成29年4月> 修士(教育学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護過程 フィジカルアセスメント 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習
専	講師	梁原 裕恵 (42) <平成29年4月> 修士(医療経営・管理学)
		在宅看護の方法Ⅰ 在宅看護の方法Ⅱ 在宅看護学実習 看護研究 総合実習
専	助教	石津 仁奈子 (51) <平成29年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 老年看護の方法Ⅰ 老年看護の方法Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	金丸 友 (45) <平成29年4月> 博士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 小児看護学概論 小児看護の方法Ⅰ 小児看護の方法Ⅱ 小児看護学実習 看護研究 総合実習
専	講師	中嶋 尚子 (57) <平成29年4月> 修士(教育学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護過程 フィジカルアセスメント 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習
専	講師	梁原 裕恵 (43) <平成29年4月> 修士(医療経営・管理学)
		在宅看護の方法Ⅰ 在宅看護の方法Ⅱ 在宅看護学実習 看護研究 総合実習 総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ
専	助教	石津 仁奈子 (52) <平成29年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 老年看護の方法Ⅰ 老年看護の方法Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石渡 智恵美 (48) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 看護研究 総合実習
専	助教	稲野辺 奈緒子 (38) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護過程 フィジカルアセスメント 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習
専	助教	岸本 久美子 (38) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護コミュニケーション 精神看護学実習 看護研究 総合実習
専	助教	美濃口 真由美 (52) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 母性看護の方法Ⅰ 母性看護の方法Ⅱ 母性看護学実習 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	稲野辺 奈緒子 (38) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護過程 フィジカルアセスメント 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習
専	助教	岡田 葉子 (48) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 看護研究 総合実習
専	助教	岸本 久美子 (38) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護コミュニケーション 精神看護学実習 看護研究 総合実習
専	助教	美濃口 真由美 (52) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 母性看護の方法Ⅰ 母性看護の方法Ⅱ 母性看護学実習 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	稲野辺 奈緒子 (39) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護過程 フィジカルアセスメント 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習
専	助教	岡田 葉子 (49) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 看護研究 総合実習
専	助教	岸本 久美子 (39) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護コミュニケーション 精神看護学実習 看護研究 総合実習
専	助教	美濃口 真由美 (53) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 母性看護の方法Ⅰ 母性看護の方法Ⅱ 母性看護学実習 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	稲野辺 奈緒子 (40) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護過程 フィジカルアセスメント 共通看護技術 医療支援技術 生活援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究 総合実習
専	助教	岡田 葉子 (50) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 看護研究 総合実習 成人看護の方法(急性期) 成人看護の方法(慢性期) 成人看護の方法(周手術期)
専	助教	岸本 久美子 (40) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 看護コミュニケーション 精神看護学実習 看護研究 総合実習
専	助教	美濃口 真由美 (53) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 母性看護の方法Ⅰ 母性看護の方法Ⅱ 母性看護学実習 総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	宮島 加奈 (33) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 小児看護の方法Ⅰ 小児看護の方法Ⅱ 小児看護学実習 総合実習
兼任	教授	神崎 秀嗣 (48) <平成29年4月> 博士(医学)
		解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 生化学 免疫学 微生物学・感染症学
兼任	教授	荒井 弘毅 (50) <平成29年4月> 博士(経済学)
		経済社会学総論
兼任	教授	榎森 啓元 (53) <平成31年4月> 博士(理学)
		教養物理学
兼任	教授	川島 淳夫 (64) <平成31年4月> 体育学修士
		健康・スポーツ科学
兼任	教授	田中 元 (51) <平成31年4月> 博士(理学)
		教養化学
兼任	教授	松井 茂 (71) <平成31年4月> 文学修士
		日本前近代史
兼任	教授	Paul Conroy (52) <平成29年4月> M. A. (E d.)
		看護英会話基礎Ⅰ 看護英会話基礎Ⅱ 看護英会話中級Ⅰ 看護英会話中級Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	宮島 加奈 (33) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 小児看護の方法Ⅰ 小児看護の方法Ⅱ 小児看護学実習 総合実習
兼任	教授	神崎 秀嗣 (48) <平成29年4月> 博士(医学)
		解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 生化学 免疫学 微生物学・感染症学
兼任	教授	荒井 弘毅 (50) <平成29年4月> 博士(経済学)
		経済社会学総論
兼任	教授	榎森 啓元 (51) <平成31年4月> 博士(理学)
		教養物理学
兼任	教授	川島 淳夫 (62) <平成31年4月> 体育学修士
		健康・スポーツ科学
兼任	教授	田中 元 (49) <平成31年4月> 博士(理学)
		教養化学
兼任	教授	松井 茂 (69) <平成31年4月> 文学修士
		日本前近代史
兼任	教授	Paul Conroy (52) <平成29年4月> M. A. (E d.)
		看護英会話基礎Ⅰ 看護英会話基礎Ⅱ 看護英会話中級Ⅰ 看護英会話中級Ⅱ
兼任	准教授	Anthony Sellick (47) <平成29年4月> Maaster of Science
		看護英会話基礎Ⅰ 看護英会話基礎Ⅱ 看護英会話中級Ⅰ 看護英会話中級Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	原 加奈 (34) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 小児看護の方法Ⅰ 小児看護の方法Ⅱ 小児看護学実習 総合実習
専	教授	神崎 秀嗣 (49) <平成29年4月> 博士(医学)
		解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 生化学 免疫学 微生物学・感染症学
兼任	教授	荒井 弘毅 (52) <平成29年4月> 博士(経済学)
		経済社会学総論
兼任	教授	榎森 啓元 (52) <平成31年4月> 博士(理学)
		教養物理学
兼任	教授	川島 淳夫 (63) <平成31年4月> 体育学修士
		健康・スポーツ科学
兼任	教授	田中 元 (50) <平成31年4月> 博士(理学)
		教養化学
兼任	教授	松井 茂 (70) <平成31年4月> 文学修士
		日本前近代史
兼任	教授	Paul Conroy (53) <平成29年4月> M. A. (E d.)
		看護英会話基礎Ⅰ 看護英会話基礎Ⅱ 看護英会話中級Ⅰ 看護英会話中級Ⅱ
兼任	准教授	Anthony Sellick (48) <平成29年4月> Maaster of Science
		看護英会話基礎Ⅰ 看護英会話基礎Ⅱ 看護英会話中級Ⅰ 看護英会話中級Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	原 加奈 (35) <平成29年4月> 修士(看護学)
		総合教養演習Ⅰ 総合教養演習Ⅱ 総合教養演習Ⅲ 総合教養演習Ⅳ 総合教養演習Ⅴ 小児看護の方法Ⅰ 小児看護の方法Ⅱ 小児看護学実習 総合実習
専	教授	神崎 秀嗣 (50) <平成29年4月> 博士(医学)
		解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 生化学 免疫学 微生物学・感染症学
兼任	教授	荒井 弘毅 (53) <平成29年4月> 博士(経済学)
		経済社会学総論
兼任	教授	榎森 啓元 (53) <平成31年4月> 博士(理学)
		教養物理学
兼任	教授	川島 淳夫 (64) <平成31年4月> 体育学修士
		健康・スポーツ科学
兼任	教授	田中 元 (51) <平成29年4月> 博士(理学)
		教養化学
兼任	教授	松井 茂 (71) <平成31年4月> 文学修士
		日本前近代史
兼任	教授	Paul Conroy (54) <平成29年4月> M. A. (E d.)
		看護英会話基礎Ⅰ 看護英会話基礎Ⅱ 看護英会話中級Ⅰ 看護英会話中級Ⅱ
兼任	准教授	Anthony Sellick (49) <平成29年4月> Maaster of Science
		看護英会話基礎Ⅰ 看護英会話基礎Ⅱ 看護英会話中級Ⅰ 看護英会話中級Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	田島 博之 (48) <平成29年4月> 博士(工学)
		コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ 保健統計学 看護情報論
兼任	准教授	寺前 洋生 (40) <平成29年4月> 医学博士
		解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ
兼任	准教授	磯部 裕幸 (41) <平成29年4月> Ph. D. (Doktor der Philosophie)
		世界近現代史 世界前近代史
兼任	准教授	上野 美穂子 (51) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本古典文学
兼任	准教授	後藤 丈志 (44) <平成31年4月> 博士(数学)
		自然科学史
兼任	講師	小田切 真輔 (40) <平成31年4月> 博士(数学)
		教養統計学
兼任	講師	小島 裕紀 (45) <平成31年4月> 修士(国際政治経済学)
		イスラーム文化論
兼任	講師	小林 延人 (34) <平成29年4月> 博士(文学)
		日本近代史 日本現代史 芸術史
兼任	講師	清水 克志 (40) <平成31年4月> 修士(文学)
		地理学
兼任	講師	関塚(木村)麻由 (46) <平成29年4月> 修士(文学)
		心理学総論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	田島 博之 (48) <平成29年4月> 博士(工学)
		コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ 保健統計学 看護情報論
兼任	准教授	寺前 洋生 (40) <平成29年4月> 医学博士
		解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ
兼任	准教授	磯部 裕幸 (42) <平成29年4月> Ph. D. (Doktor der Philosophie)
		世界近現代史 世界前近代史
兼任	准教授	上野 美穂子 (49) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本古典文学
兼任	准教授	後藤 丈志 (42) <平成31年4月> 博士(数学)
		自然科学史
兼任	講師	小田切 真輔 (38) <平成31年4月> 博士(数学)
		教養統計学
兼任	講師	小島 裕紀 (43) <平成31年4月> 修士(国際政治経済学)
		イスラーム文化論
兼任	講師	小林 延人 (34) <平成29年4月> 博士(文学)
		日本近代史 日本現代史 芸術史
兼任	講師	清水 克志 (39) <平成31年4月> 博士(文学)
		地理学
兼任	講師	関塚(木村)麻由 (46) <平成29年4月> 修士(文学)
		心理学総論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	田島 博之 (49) <平成29年4月> 博士(工学)
		コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ 保健統計学 看護情報論
兼任	准教授	寺前 洋生 (41) <平成29年4月> 医学博士
		解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ
兼任	准教授	磯部 裕幸 (43) <平成29年4月> Ph. D. (Doktor der Philosophie)
		世界近現代史 世界前近代史
兼任	准教授	上野 美穂子 (50) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本古典文学
兼任	准教授	後藤 丈志 (43) <平成31年4月> 博士(数学)
		自然科学史
兼任	講師	小田切 真輔 (39) <平成31年4月> 博士(数学)
		教養統計学
兼任	講師	小島 裕紀 (44) <平成31年4月> 修士(国際政治経済学)
		イスラーム文化論
兼任	講師	安原 徹也 (36) <平成30年4月> 博士(文学)
		日本近代史 日本現代史 芸術史
兼任	准教授	清水 克志 (40) <平成31年4月> 博士(文学)
		地理学
兼任	講師	関塚(木村)麻由 (47) <平成29年4月> 修士(文学)
		心理学総論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	田島 博之 (50) <平成29年4月> 博士(工学)
		コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ 保健統計学 看護情報論
兼任	准教授	寺前 洋生 (42) <平成29年4月> 医学博士
		解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ
兼任	准教授	磯部 裕幸 (44) <平成29年4月> Ph. D. (Doktor der Philosophie)
		世界近現代史 世界前近代史
兼任	教授	上野 美穂子 (51) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本古典文学
兼任	准教授	後藤 丈志 (44) <平成31年4月> 博士(数学)
		自然科学史
兼任	講師	小田切 真輔 (40) <平成31年4月> 博士(数学)
		教養統計学
兼任	講師	小島 裕紀 (45) <平成31年4月> 修士(国際政治経済学)
		イスラーム文化論
兼任	講師	安原 徹也 (37) <平成30年4月> 博士(文学)
		日本近代史 日本現代史 芸術史
兼任	准教授	清水 克志 (41) <平成31年4月> 博士(文学)
		地理学
兼任	講師	関塚(木村)麻由 (48) <平成29年4月> 修士(文学)
		心理学総論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中網 栄美子 (46) ＜平成29年4月＞ 修士(法学)
		法政治学総論
兼任	講師	山本(津本) 幹子 (45) ＜平成29年4月＞ 修士(文学)
		国語表現法
兼任	講師	相澤 良夫 (65) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅱ
兼任	講師	岡田 忍 (59) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		病理学
兼任	講師	勝井 恵子 (33) ＜平成29年4月＞ 修士(教育学)
		生命倫理学
兼任	講師	金子 和夫 (65) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉学
兼任	講師	崎浜 智子 (52) ＜平成31年4月＞ 修士(医科学)
		感染看護論
兼任	講師	鮫島 有理 (52) ＜平成31年4月＞ 修士(心理学)
		臨床心理学
兼任	講師	習田 明裕 (50) ＜平成31年4月＞ 博士(看護学)
		看護管理学
兼任	講師	豊島 裕子 (63) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		疫学
兼任	講師	西開地 由美 (46) ＜平成32年4月＞ 修士(看護学)
		クリティカルケア論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中網 栄美子 (46) ＜平成29年4月＞ 修士(法学)
		法政治学総論
兼任	講師	山本(津本) 幹子 (45) ＜平成29年4月＞ 修士(文学)
		国語表現法
兼任	講師	相澤 良夫 (64) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅱ
兼任	講師	岡田 忍 (58) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		病理学
兼任	講師	勝井 恵子 (32) ＜平成29年4月＞ 修士(教育学)
		生命倫理学
兼任	講師	金子 和夫 (64) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉学
兼任	講師	崎浜 智子 (50) ＜平成31年4月＞ 修士(医科学)
		感染看護論
兼任	講師	鮫島 有理 (50) ＜平成31年4月＞ 修士(心理学)
		臨床心理学
兼任	講師	習田 明裕 (48) ＜平成31年4月＞ 博士(看護学)
		看護管理学
兼任	講師	豊島 裕子 (62) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		疫学
兼任	講師	西開地 由美 (43) ＜平成32年4月＞ 修士(看護学)
		クリティカルケア論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中網 栄美子 (47) ＜平成29年4月＞ 修士(法学)
		法政治学総論
兼任	講師	山本(津本) 幹子 (46) ＜平成29年4月＞ 修士(文学)
		国語表現法
兼任	講師	相澤 良夫 (65) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅱ
兼任	講師	岡田 忍 (59) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		病理学
兼任	講師	勝井 恵子 (33) ＜平成29年4月＞ 修士(教育学)
		生命倫理学
兼任	講師	金子 和夫 (65) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉学
兼任	講師	崎浜 智子 (51) ＜平成31年4月＞ 修士(医科学)
		感染看護論
兼任	講師	鮫島 有理 (51) ＜平成31年4月＞ 修士(心理学)
		臨床心理学
兼任	講師	習田 明裕 (49) ＜平成31年4月＞ 博士(看護学)
		看護管理学
兼任	講師	豊島 裕子 (63) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		疫学
兼任	講師	西開地 由美 (44) ＜平成32年4月＞ 修士(看護学)
		クリティカルケア論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中網 栄美子 (48) ＜平成29年4月＞ 修士(法学)
		法政治学総論
兼任	准教授	山本(津本) 幹子 (47) ＜平成29年4月＞ 修士(文学)
		国語表現法
兼任	講師	相澤 良夫 (66) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅱ
兼任	講師	岡田 忍 (60) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		病理学
兼任	講師	勝井 恵子 (34) ＜平成29年4月＞ 修士(教育学)
		生命倫理学
兼任	講師	金子 和夫 (66) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉学
兼任	講師	崎浜 智子 (52) ＜平成31年4月＞ 修士(医科学)
		感染看護論
兼任	講師	鮫島 有理 (52) ＜平成31年4月＞ 修士(心理学)
		臨床心理学
兼任	講師	習田 明裕 (50) ＜平成31年4月＞ 博士(看護学)
		看護管理学
兼任	講師	豊島 裕子 (64) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		疫学
兼任	講師	西開地 由美 (45) ＜平成32年4月＞ 修士(看護学)
		クリティカルケア論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	望月 留加 (42) <平成32年4月> 博士(保健学)
		緩和ケア論
兼任	講師	森 千里 (57) <平成29年4月> 医学博士
		生活環境と健康
兼任	講師	渡辺 光子 (56) <平成32年4月> 短期大学士
		創傷ケア論
兼任	講師	渋谷 百合絵 (33) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本近代文学
兼任	講師	福田 光弘 (43) <平成29年4月> 修士(社会学)
		思想史総論
兼任	講師	松岡 昌和 (39) <平成31年4月> 博士(学術)
		アジア文化論 ヨーロッパ文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	望月 留加 (39) <平成32年4月> 博士(保健学)
		緩和ケア論
兼任	講師	森 千里 (57) <平成29年4月> 医学博士
		生活環境と健康
兼任	講師	渡辺 光子 (53) <平成32年4月> 短期大学士
		創傷ケア論
兼任	講師	渋谷 百合絵 (31) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本近代文学
兼任	講師	福田 光弘 (43) <平成29年4月> 修士(社会学)
		思想史総論
兼任	講師	松岡 昌和 (37) <平成31年4月> 博士(学術)
		アジア文化論 ヨーロッパ文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	望月 留加 (40) <平成32年4月> 博士(保健学)
		緩和ケア論
兼任	講師	森 千里 (58) <平成29年4月> 医学博士
		生活環境と健康
兼任	講師	渡辺 光子 (54) <平成32年4月> 短期大学士
		創傷ケア論
兼任	講師	渋谷 百合絵 (32) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本近代文学
兼任	講師	清塚 明朝 (35) <平成29年10月> 修士(文学)
		思想史総論
兼任	講師	松岡 昌和 (38) <平成31年4月> 博士(学術)
		アジア文化論 ヨーロッパ文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	望月 留加 (41) <平成32年4月> 博士(保健学)
		緩和ケア論
兼任	講師	森 千里 (59) <平成29年4月> 医学博士
		生活環境と健康
兼任	講師	渡辺 光子 (55) <平成32年4月> 短期大学士
		創傷ケア論
兼任	講師	渋谷 百合絵 (32) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本近代文学
兼任	講師	清塚 明朝 (36) <平成29年10月> 修士(文学)
		思想史総論
兼任	講師	松岡 昌和 (39) <平成31年4月> 博士(学術)
		アジア文化論 ヨーロッパ文化論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み))、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・齋藤泰子教授の希望により平成29年度は兼任教員として初年度開講科目を担当。平成30年4月より専任として就任。
- ・庭野吉己教授の希望により平成29年度は兼任教員として初年度開講科目を担当。平成30年4月より専任として就任。
- ・平山恵美子教授就任辞退を受け、北林司教授就任。平成29年1月教員審査済
- ・平成28年8月補正教員審査結果において梁原裕恵講師が総合教養演習科目において「不可」（専任補充）の判定を受けに対する補充及び、基礎看護学分野の指導体制強化のため科目担当者として村中陽子教授就任。平成28年11月教員審査済
- ・石渡智恵美助教就任辞退を受け、岡田葉子助教就任。平成29年1月教員審査済
- ・英会話科目において当初担当者は1名であったが、少人数指導を実施するため担当者としてAnthony Sellick准教授を追加し2名体制とした。

【平成30年度】

- ・長弘千恵教授非常勤就任辞退により、飯村直子教授「家族看護論：科目の追加」平成30年2月教員審査済
- ・平成30年4月小松妙子教授就任 平成30年2月教員審査済
- ・藤野彰子教授就任辞退により、平成30年4月大野美千代講師就任 平成30年2月教員審査済
- ・平成30年4月神崎秀嗣教授就任 平成30年2月教員審査済
- ・小林延人講師辞任により、安原徹也講師に変更
- ・渋谷百合絵兼任講師が専任講師に就任したため、兼任に変更
- ・福田光弘兼任講師辞任のため、清塚明朗兼任講師就任

【令和元年度】

- ・長弘千恵教授就任辞退により、伊藤景一教授就任 平成30年7月教員審査済
- ・瀬戸口ひとみ講師辞任により、5月1日現在では科目担当者不在となるが、香月毅史教授「精神看護の方法Ⅰ・精神看護の方法Ⅱ：科目の追加予定」及び松田直正講師就任予定 現在審査中

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
15	3	5	6	29	15	3	5	6	29
(13)	(2)	(4)	(6)	(25)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
15	3	6	7	31	15	3	6	7	31
[]	[]	[+1]	[+1]	[]	[]	[]	[+1]	[+1]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{31}{29} = \boxed{106.89} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{29} = \boxed{3.44} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	平山 恵美子	H28.10	必修	総合教養演習Ⅰ	①	H28.10—身上の都合（親の介護）のため就任辞退（29）						
				必修	総合教養演習Ⅱ	①							
				必修	総合教養演習Ⅲ	①							
				必修	総合教養演習Ⅳ	①							
				必修	総合教養演習Ⅴ	①							
				必修	看護倫理	①							
				必修	成人看護学概論	①							
				必修	成人看護の方法（慢性期）	①							
				必修	成人看護学実習Ⅰ	①							
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①							
				必修	成人看護学実習Ⅲ	①							
				選択	救急看護論	①							
				選択	災害看護論	①							
				必修	看護研究	①							
必修	総合実習	①											
2	助教	石渡 智恵美	H28.10	必修	総合教養演習Ⅰ	①	H28.10—身上の都合（親の介護）のため就任辞退（29）						
				必修	総合教養演習Ⅱ	①							
				必修	総合教養演習Ⅲ	①							
				必修	総合教養演習Ⅳ	①							
				必修	総合教養演習Ⅴ	①							
				必修	成人看護学実習Ⅰ	①							
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①							
				必修	成人看護学実習Ⅲ	①							
				必修	看護研究	①							
				必修	総合実習	①							
				3	教授	藤野 彰子		H29.11	必修	総合教養演習Ⅰ	①	H29.11—身上の都合（他大学就任）のため就任辞退（30）	
必修	総合教養演習Ⅱ	①											
必修	総合教養演習Ⅲ	①											
必修	総合教養演習Ⅳ	①											
必修	総合教養演習Ⅴ	①											
必修	成人看護の方法（急性期）	①											
必修	成人看護の方法（慢性期）	①											
必修	成人看護学実習Ⅰ	①											
必修	成人看護学実習Ⅱ	①											
必修	成人看護学実習Ⅲ	①											
必修	看護研究	①											
必修	総合実習	①											
4	教授	長弘 千恵	H30.5				必修		総合教養演習Ⅰ	①	H30.5—身上の都合（他大学就任）のため就任辞退（元）		
							必修		総合教養演習Ⅱ	①			
				必修	総合教養演習Ⅲ	①							
				必修	総合教養演習Ⅳ	①							
				必修	総合教養演習Ⅴ	①							
				必修	公衆衛生看護診断論	①							
				必修	公衆衛生看護管理論	①							
				必修	公衆衛生看護実習Ⅱ	①							
				必修	看護研究	①							
必修	総合実習	①											
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
4	人	必修	45	科目	必修	45	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	47	科目	計	47	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	越田 澄人	H30.3	選択	教養生物学	②	H30.3.31付け所属学部変更のため辞任 (30)			
2	講師	瀬戸口 ひとみ	H31.4	必修	総合教養演習Ⅰ	①	H31.4-1身上の都合（他大学就任）のため辞任 (元)			
				必修	総合教養演習Ⅱ	①				
				必修	総合教養演習Ⅲ	①				
				必修	総合教養演習Ⅳ	①				
				必修	総合教養演習Ⅴ	①				
				必修	精神看護の方法Ⅰ	①				
				必修	精神看護の方法Ⅱ	①				
				必修	精神看護学実習	①				
				必修	看護研究	①				
			必修	総合実習	①					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	10	科目	計	1	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
6	人	必修	55	科目	必修	55	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	2	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	58	科目	計	57	科目	計	1	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{6}{29} = \boxed{20.68} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

認可後、平山恵美子教授および石渡智恵美助教から就任辞退を受けたが、開設までにAC教員審査を経て担当者の変更を行なったため、学生への履修等に影響は無いものとする(29)

藤野彰子教授から就任辞退を受けたが、就任予定だった平成30年4月までにAC教員審査を経て担当者の変更を行なったため、学生への履修等に影響は無いものとする(30)

瀬戸口ひとみ講師から辞任を受けたが、香月毅教授の科目追加・新任教員のAC教員審査を行っており、承認後の履修体制を整えている。学生においてはH31.4新学期ガイダンスにおいて瀬戸口ひとみ講師の辞任を知ることになったが、特に影響はなかった。(元)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (平成28年8月)	・教員の補充を必要とされた5授業科目については、開設時又は科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	留意事項 ・教員の補充を必要とされた5授業科目については、開設時までに専任教授1名、専任助教1名を新たに採用し、教員審査を経て配置し、充足した。(29)	履行済
	・認可後に補助金(千葉県)が収納予定であることから、収納後、速やかにその旨を報告すること。	留意事項 ・別紙資料のとおり、平成29年4月13日付で千葉県知事より補助金額確定の通知を受けた。補助金は平成29年5月29日に公布され、6月23日に報告した。(29)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	看護学部看護学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	未履行 ・看護学部募集対策委員会を設置し、定員充足のために学生募集の強化に努めることになった。今後の状況を見て、入学定員の見直しも検討する(30)

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成18年度より、秀明大学ファカルティ・ディベロプメント委員会を設置し、教員の教育研究活動の向上ならびに能力開発に関して検討を行い、その質的充実を図ることを目的として活動している。

規程は次のとおりである。

秀明大学ファカルティ・ディベロプメント委員会規程

第1条（目的） 秀明大学の教員の教育研究活動の向上・能力開発に関して検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、ファカルティ・ディベロプメント委員会（「FD委員会」）を置く。

第2条（組織） 本委員会は、委員長ならびに委員及び事務職員をもって構成する。

2 前項の委員長及び委員等は、毎年度、学長がこれを任命する。

3 学長が必要と認めたときは副委員長を置くことができる。

第3条（任期） 委員の任期は1か年とする。ただし、再任を妨げない。

第4条（運営） 本委員会は、委員長が招集し、議長となる。

2 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

第5条（審議事項） 本委員会は、次の事項を審議する。

(1) 教育研究活動改善の方策に関する事項

(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項

(3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項

(4) その他、FD活動に関する事項

第6条（答申） 委員長は、本委員会の審議結果を学長に答申しなければならない。

第7条（実施事項の決定） 前条の答申内容の実施については、教授会の議を経て学長が決定する。

第8条（規程の改廃） この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員は原則として毎年度はじめに学長より任命され、委員会は、最低毎月1回開催されている。現在、委員の構成は、FD委員長、各学部長、教務部長、学生部長、就職部長、事務局長の幹部教職員と一般教員、教務課職員からなり、原則委員全員が毎回出席している。

c 委員会の審議事項等

委員会の審議事項は次のとおりである。

- （1）教育研究活動改善の方策に関する事項
- （2）初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項
- （3）学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項
- （4）その他、FD活動に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- （1）教員研究発表会
- （2）授業評価アンケート
- （3）シラバスの改善
- （4）年2回の教員研修会
- （5）新任教員研修
- （6）教員個人の自己点検評価（PDCA）活動

b 実施方法

（1）教員研究発表会

平成18年度より、専任教員全員が毎年最低1回の研究発表を行っている。FD委員会が毎年度初めに年間の発表スケジュールを立て、それに従って、休業期間を除くほぼ毎週、全教員が参加して行う。

発表内容は、最新の研究成果、講義方法の工夫等に関するもので、発表後、全教員で質疑応答、意見交換を行い、教育研究活動の質の向上を目指している。平成19年度以降、いくつかの発表内容を秀明出版会が公刊している月刊「秀明」に掲載している。

（2）授業評価アンケート

平成18年度より、FD委員会が授業アンケートを実施し、その結果を検証している。FD委員長は、明らかになった問題点や学生からの要望事項を教員連絡会でフィードバックし、授業の改善を促している。また、専任、非常勤を問わず、学生の満足度の低い授業担当者がある場合には、FD委員長が学長に報告し、学長は必要に応じて本人に速やかに改善するよう命じている。

（3）シラバスの改善

平成19年度以降、FDの一環として全ての講義について、毎時間ごとの詳細シラバス（半期15回）を作成し、計画的な講義の実施と内容の充実に努めた。作成に当たっては、FD委員会のもとにシラバス検討委員会が置かれ、複数の教員が内容の点検を行った。今年度も引き続き毎時間のシラバスの内容について検討をし、改善に努めている。

（4）年2回の教員研修会

年度初めと夏期休業中の年2回、全教員による研修会を開催している。年度初めには、学長はじめ各分掌の責任者から前年度の結果報告と反省、今年度の目標や計画が示され、それについての意見交換、討議が行われる。夏期研修会では、教育研究の成果を挙げている教員の実践報告が行われている。

(5) 新任教員研修

毎年度初めにFD委員が中心となって新任者の研修を実施している。主な内容は、次のとおりである。

- (1) 本学の建学の精神、教育方針、特色
- (2) 秀明大学ならびに各学部の目的
- (3) 講義ならびに学生指導上の留意点
- (4) 担任制度と学生情報システム
- (5) 諸規定（学則その他）

(6) 教員個人の自己点検評価（PDCA）活動

次の項目について、年度初めに目標・計画を、年度末には最終報告をさせるPDCA活動を実施し、教育研究活動の活性化を図っている。

<幹部教員>

- (1) 学生募集
- (2) 就職指導
- (3) インターンシップ
- (4) 単位取得指導
- (5) 出席率
- (6) 資格取得
- (7) 学生満足度（アンケート活動）
- (8) 大学祭（学生活動）
- (9) 教員研究発表
- (10) 図書館利用

<教員>

- (1) 学生の教育指導（授業、ゼミ、資格取得、生活指導、担任指導、その他）
- (2) 大学への貢献（校務分掌、学生募集）
- (3) 研究活動
- (4) 社会貢献
- (5) その他

c 実施状況（教員の参加状況含む）

- (1) 教員研究発表会…休業期間を除いてほぼ毎週、全専任教員参加
- (2) 授業評価アンケート…年4回、専任・非常勤問わず全授業担当者対象
- (3) シラバスの改善…前期、後期各1回。専任・非常勤問わず全授業担当者
- (4) 年2回の教員研修会…年度初めと夏期休業中。全専任教員参加
- (5) 新任教員研修…年度初め。新任教職員参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

前述のとおり、授業アンケート、全教員による研究発表会、毎時間の詳細シラバスの作成等により、全教員が授業の改善に積極的に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・年間4回実施（前期は5月、7月 後期10月、2月）

b 教員や学生への公開状況，方法等

- ・教員には個々に結果を通知、授業改善報告書を求めている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和元年6月に実施する予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年8月末 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中（前回は平成27年度に受審し、「適合」と判定された）。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 5月 13日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。